人間ドック《血液・尿・便》　検査項目一覧

＊採血項目はご契約内容により異なりますのでご了承下さい。2024年4月現在

臓器・分類	検査項目	内　　容
血糖	血糖	主に糖尿病や内分泌疾患で高くなります。高血糖状態が続くと様々な血管の合併症の原因となります。
	ヘモグロビンA１c	過去１～２ヶ月の血糖値管理ができていたかの指標となります。
肝機能	ＡＳＴ（ＧＯＴ）	多くの臓器（心臓・肝臓など）や筋肉の細胞に含まれる酵素です。臓器の異常（心筋梗塞や肝臓疾患など）により高値になります。
	ＡＬＴ（ＧＰＴ）	主に肝臓に多く含まれる酵素で、急性肝炎・慢性肝炎・肝脂肪・アルコール性肝障害などで高値になります。
	γ-ＧＴ（γ-ＧＴＰ）	慢性肝炎・アルコール性肝障害・胆道の病気で胆汁の流れが悪くなる場合や肝硬変・肝腫瘍の他、常習的な飲酒の場合にも高値になります。
	ＡＬＰ	胆管の炎症・結石・腫瘍など胆汁の流れが悪くなる病気や、肝炎・肝脂肪・肝腫瘍・アルコール性肝障害の他、肝臓以外の病気でも高値になります。
	ＬＤＨ	急性肝炎・肝臓その他の臓器の腫瘍などで高値になります。また血液・肺・心臓の病気などでも高くなる場合があります。
	ＬＡＰ	胆道の炎症・結石・腫瘍など胆汁の流れが悪くなる病気や、急性肝炎・慢性肝炎・肝硬変・肝腫瘍などで高値になります。
	コリンエステラーゼ	ネフローゼ・甲状腺機能亢進症・糖尿病・高脂血症・肝脂肪などで高値になります。また慢性肝炎・肝硬変などの肝臓病、慢性感染症などの消耗性疾患・栄養失調・貧血などでは低値となります。
	総ビリルビン 直接/間接ビリルビン	急性肝炎・慢性肝炎・肝硬変などの肝臓の病気や、胆石・胆道の腫瘍などにより胆汁の流れが悪くなる場合に高値になりますが、体質的に高い場合もあります。また血球が壊される病気でも高くなります。
脂質	総コレステロール	動物性脂肪の摂りすぎ、糖尿病、アルコールの飲みすぎ、家族性因子などで高値になり、動脈硬化や虚血性心臓病をおこしやすくなります。逆にコレステロールが低すぎると血管が弱くなり脳出血をおこしやすくなります。
	中性脂肪	カロリーの摂りすぎ（脂肪・糖質・アルコールなど）、糖尿病・肥満などで高値になります。
	ＨＤＬコレステロール	善玉コレステロールとも言われ、飲酒・運動などで上昇しますが特に問題はありません。逆に喫煙・糖尿病・肥満・運動不足などで低くなり、動脈硬化をおこしやすくなります。
	ＬＤＬコレステロール	悪玉コレステロールとも言われ、動脈硬化を促進させます。
膵臓	血清アミラーゼ	主に膵臓疾患で高値になりますが、胃・十二指腸潰瘍の穿孔・腸閉塞・卵巣癌・肺癌などで上昇する場合があります。
腎臓	総蛋白	脱水などで血液が濃縮された時や、慢性炎症・慢性肝炎・肝硬変などで高値になります。一方、慢性肝炎・肝硬変などで蛋白質が肝臓で十分につくられていない時や蛋白質の摂取不足・吸収不良の時は低値となります。
	尿素窒素	腎機能障害で高値になります。蛋白質の摂りすぎでも高くなる場合もあります。
	クレアチニン	急性腎炎・慢性腎炎・心不全・尿路閉塞性疾患で高値になります。
	尿酸	痛風・肥満・アルコールの飲みすぎ、プリン体を多く含む食品（いわし、さば、獣の内臓など）の摂りすぎ、腎機能障害などの時に高値になります。
電解質	Ｎａ／Ｋ／Ｃｌ	体液中の主要電解質の濃度を測定し、身体の恒常性のくずれを把握します。
貧血	赤血球数・血色素量 血小板数　など	食生活の影響や胃腸・婦人科系の出血がある場合、また胃腸の手術や病気のために栄養が吸収されにくい場合などで低値となります。
	血清鉄	再生不良性貧血・肝炎などで高値になります。鉄欠乏性貧血・妊娠・鉄分摂取不足の場合は低値となります。
白血球	白血球数	感染症・炎症・ストレスなどで高値になります。
炎症マーカー	ＣＲＰ	感染症・炎症・組織崩壊・腫瘍などで高値になります。
腫瘍マーカー	ＣＥＡ	広範囲の癌に対して非特異的に高値になります。また転移性肝癌・消化器系の癌・肺癌などでも高くなります。
	ＣＡ 19-9	消化器系の癌、特に膵癌や胆道系の癌で高値になります。
	ＰＳＡ（男性のみ）	前立腺癌で高値になります。前立腺肥大症・前立腺炎でも高くなります。
	ＣＡ 125（女性のみ）	卵巣癌で高値になります。卵巣のう胞・子宮内膜症・肝硬変・急性膵炎・月経・妊娠などでも高くなる場合があります。
感染症	ＨＢs抗原定性	Ｂ型肝炎で陽性となります。
	HCV抗体	Ｃ型肝炎で陽性となります。
	ＲＰＲ定性・ＴＰＨＡ定性	梅毒感染で陽性となります。
尿検査	尿糖	血液中のブドウ糖が尿中に排出されたもので、糖尿病で血糖が高い場合や腎臓での再吸収がうまくできていない場合にも陽性になります。
	尿蛋白	血液中の蛋白が尿中に排出されたもので、腎炎やネフローゼなどの腎疾患で陽性になる他、健常人でも運動や発熱・多量の肉食などにより陽性になる場合があります。
	尿潜血（血尿）	尿中の血液を検出するもので、腎臓・膀胱・尿道・前立腺の炎症や結石・腫瘍などにより陽性になります。また女性の場合、生理の影響で陽性になる場合があります。
便検査	潜血（２回法）	糞便中に含まれるヘモグロビン（血液）を検出します。下部消化管からの出血を伴う癌やポリープ・潰瘍などで陽性になります。また大腸炎や痔核からの出血で陽性になる場合があります。